

2019年2月15日
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
三菱UFJ信託銀行株式会社

保有株式の売却について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行、以下「MUFG」）の連結子会社である三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{いけがや みきお}池谷 幹男、以下「当社」）は、保有する資本・業務提携先である Standard Life Aberdeen plc（代表者 Co-CEO Martin Gilbert/Keith Skeoch、以下「SLA 社」）の全普通株式を売却いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式売却の内容（株式数は銀行勘定のみを記載）

売却普通株式数	148,627,983 株
売却日	2019年2月15日
売却後普通株式数	0 株
売却額	約 349.3 百万ポンド（約 494 億円）

2. 株式売却の理由

MUFG は、2017 年 5 月 15 日に公表しました「MUFG 再創造イニシアティブ」において掲げた「生産性向上に向けたイニシアティブ」の個別施策として、国際金融規制の強化やグローバルな事業環境の変化に対応すべく、資本運営の最適化を進めております。このような背景の中、MUFG グループ各社による戦略出資に関しては、その戦略性・資本効率・出資採算等の観点から見直しを行っております。

今回、全普通株式を売却することになった SLA 社は、2017 年 8 月に英国アバディーン・アセット・マネジメント社と英国スタンダード・ライフ社の合併により発足した資産運用グループです。

当社は 2008 年 10 月にアバディーン・アセット・マネジメント社と資本・業務提携契約を締結して以来、同社の運用商品を国内のお客さま向けに提供してまいりました。

今般、MUFG および当社を取り巻く環境変化を踏まえた慎重な検討を重ねた結果、保有する全普通株式を売却する結論に至りましたが、SLA 社は当社にとって重要なパートナーであるという位置付けは不変です。

3. 業績に与える影響

本株式売却が MUFG の当期の業績に与える影響は軽微です。

以 上